

網走養護学校だより



平成26年度
第 6 号
(通巻 171号)
11月21日発行
発行責任者
校長:安戸 岳夫
Tel:0152-48-2137

～ 学校祭がんばりました ～

オラフの宝物...それは、『やさしいこころ』



小学部の劇は、ディズニー映画「アナと雪の女王」をもとにしたオリジナルストーリーでした。主人公はユニークな雪だるまのオラフ。オラフに扮した6年生4人が、「自分だけの宝物」を探す旅に出かけます。そこで出会うのは、元気いっぱいカニのダンサーや、天都山のクインテット音楽隊、そしてトレーニングフィールドでトレーニングにはげむアスリートたち。みんな練習の成果を十分に出し切りました。

ラストはアナ・エルサ・クリストフなど、おなじみのキャラクターみんなで歌う「ありのままで～♪」。大ヒットしたこの曲が、小学部のみんなにとってさらに特別な曲になりました。(文責:黒川)

新ももたろう物語



今年度の中学部の演目は童話「ももたろう」をアレンジした創作劇を行いました。主人公のももたろうがシンデレラのパーティーに招待され、たくさんのお友達に出会いながら物語が進行していきます。浦島太郎や花咲か爺さん、かぐや姫など、みんなが知っているキャストが友達として登場し、終盤はパーティーの邪魔をしようと現れた鬼とももたろうが戦うシーンもありました。

グループ練習から全体練習まで、一人一人が自分の役割、活動をしっかり練習できたと思います。緊張してうまく演技ができない生徒も、友達に励まされたことで後半は練習通り演技ができたなどのドラマも生まれ、素晴らしい舞台発表となりました。(文責:菊池)

合言葉は…「いいとも～!!」



今年の高等部は「笑っていいとも！」をモチーフにした『帰ってきた？！笑っていいとも！！特大号』と題し、4つのコーナーに分かれて24名の生徒がそれぞれの役割を演じました。「いいとも青年隊」のダンスで始まり、「テレフォンショッキング」、「器楽コーナー」、「対決コーナー」と続き、最後は全員が集合し、午後の販売会のPRコーナーを行いました。各コーナーには3人のタモリさんが登場するなど、生徒たちの個性を活かしたのではないかと思います。

練習を通すたびに、それぞれの役割を認識し、周りの友達を気かけながら動く生徒たちはとても頼もしい高校生に見えました。ステージ発表直前に掛けた、「学校祭頑張ってくれるかな？！」「いいとも～!!」の掛け声通り、学校祭を頑張ってくれた生徒たちに盛大な拍手を送ります。（文責：小林）

今年も感動した学校祭フィナーレ



今年の児童生徒会の学校祭フィナーレは、中学部児生会役員による素晴らしい司会で始まりました。最初の高等部児生会の進行で始まったゲーム『じゃんけん列車』では在校生はもちろん、指導者・卒業生など多くの方が真剣ながらも笑顔で楽しむ様子が見られました。その後、全校児童生徒の学校祭への取り組みのVTR映像を見て学校祭の感動に浸る中、ハンドベルが鳴り全児生会役員によるフラッシュ・モブでの「にじ」の歌唱&演奏がありました。

最後は、小学部児生会役員の曲紹介による全参加者での「にじ」の合唱でした。体育館に響く参加者の歌声はとても美しく、素敵な『にじ』が見えた気分になる感動的な学校祭フィナーレとなりました。（文責：我妻）

<編集後記>

今回の学校だよりでは、今月1日に行われた学校祭の様子をお伝えしました。児童生徒が約1カ月の間に練習・準備してきた頑張りは伝わりましたでしょうか。学校祭を通し、友達や先生の力を借りて、大きく成長した児童生徒たちを今後も温かく見守っていただければと思います。

次回の発行は3月になります。よろしくお願い致します。

（文責：小林）